

和牛産肉能力直接検定成績

比 嘉 喜 政 高江洲 義 晃

I 緒 言

当場では、昭和56年度より種雄牛候補牛の産肉能力評価のため、和牛産肉能力検定（直接法）を実施しているため、平成元年度購入牛の検定成績について報告する。

II 検定牛および検定方法

検定牛（種雄牛候補牛）は、肉用牛群改良基地育成事業により認定された雌牛から、計画交配により生産され、産子調査により選定された15頭の雄子牛であった。その概要は、表-1に示した。父牛別の内訳は、安波土井、晴姫、富士晴の息牛がそれぞれ4頭、谷水の息牛が2頭、福美の息牛が1頭であった。

検定方法は、全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定法（直接法）により実施した。直接法とは、雄子牛を離乳後112日間ほぼ飽食飼育し、その間の増体量と飼料要求率等を調査するものである。

表-1 検定牛の概要

番号	名 号	生年月日	血 統			生 産 地	検 定 期 間
			父	母	母方祖父		
1	阿部千代	1. 1. 20	福 美	ひろや	茂 牡 丹	伊 江 村	1. 8.15~1.12. 5
2	斗 記	63.12. 3	安波土井	さだとく	第3吾妻富士	平 良 市	"
3	晴 清	1. 4. 2	晴 姫	きよしげ	糸 茂	石 垣 市	1.11.21~2. 3.13
4	修 平	1. 6. 21	安波土井	ゆりひめ	一 福	平 良 市	2. 1.16~2. 5. 8
5	八重桜	1. 6. 15	富 士 晴	ふじひろ	中 部 6	石 垣 市	"
6	富 茂	1. 6. 12	富 士 晴	まさしげ	糸 茂	石 垣 市	"
7	第5糸姫	1. 6. 10	晴 姫	はるひかり4	晴 美	石 垣 市	"
8	単 人	1. 5. 10	安波土井	はつひめ2	菊 正	平 良 市	"
9	雪富士	1. 7. 28	晴 姫	ゆきしげ	第7糸桜	石 垣 市	2. 3.13~2. 7. 3
10	糸千代	1. 7. 10	谷 水	ちといと	第7糸桜	石 垣 市	"
11	鉄 人	1.10. 17	安波土井	す ず の	第16笹土	城 辺 町	2. 5. 8~2. 8.28
12	盛富士	1.10. 13	富 士 晴	なかはら	第7糸桜	石 垣 市	"
13	谷 晴	1.10. 4	谷 水	まつはる	晴 美	石 垣 市	"
14	晴 桜	1. 9. 1	晴 姫	はるさくら2	晴 美	石 垣 市	"
15	初富士	1. 8. 25	富 士 晴	はつさか5	第10神奥	伊 江 村	"

Ⅲ 検定成績

検定成績は、表-2に示すとおりであった。各形質の平均値は、開始時日齢227.5日、開始時体重266.0kg、終了時体重400.2kg、180日補正体重218.3kg、365日補正体重430.8kg DG1.20kg、粗飼料摂取率39.4%、飼料要求率濃厚飼料4.24、粗飼料2.76、DCP0.55、TDN4.16、体型評点82.0であった。

DGについて選抜基準の1.20kg以上の牛は9頭おり、最高は晴桜(No14)の1.45kgであった。DGの最低は修平(No4)の0.89kgであった。365日補正体重については、盛富士(No12)の494.1kgが最も大きく、最も小さかったのは修平(No4)の352.1kgであった。飼料要求率(TDN)については、富茂(No6)の3.77が最も低く、最も高かったのは隼人(No8)の4.84であった。

15頭の平均値を全国平均値と比較すると、DGと365日補正体重はやや劣っていたが、飼料要求率(DCP、TDN)は優れていた。

表-2 検定成績

番号	名号	開始日齢	体重(kg)				DG	粗飼 摂取率	飼料要求率				体型 評点
			開始時	終了時	180日補	365日補			濃飼粗飼	DCP	TDN		
1	阿部千代	207	275.2	412.0	249.2	468.2	1.22	30	4.80	2.03	0.58	4.27	81.4
2	斗記	255	291.0	434.3	214.8	431.7	1.28	39	4.34	2.73	0.56	4.22	82.1
3	晴清	233	312.0	458.4	248.8	484.5	1.31	37	4.25	2.47	0.54	4.05	83.5
4	修平	209	213.5	313.0	188.0	352.1	0.89	44	3.79	2.99	0.52	3.93	80.7
5	八重桜	215	278.8	422.8	241.1	471.7	1.29	36	4.58	2.56	0.58	4.32	83.0
6	富茂	218	238.5	383.5	202.5	428.8	1.29	41	3.75	2.66	0.50	3.77	81.9
7	第5糸姫	220	266.7	393.8	224.0	431.2	1.13	41	4.59	3.13	0.61	4.56	82.4
8	隼人	251	294.5	406.8	220.0	408.8	1.00	43	4.76	3.52	0.64	4.84	82.2
9	雪富士	228	269.5	409.3	220.8	440.5	1.25	44	3.82	3.05	0.52	3.97	81.6
10	糸千代	246	232.2	355.3	179.0	363.0	1.10	43	3.93	2.97	0.53	4.02	81.1
11	鉄人	203	234.7	358.8	211.7	414.2	1.11	42	4.04	2.88	0.54	4.06	81.5
12	盛富士	207	285.0	433.2	252.5	494.1	1.32	37	4.14	2.39	0.53	3.94	83.1
13	谷晴	216	231.3	375.0	198.4	422.5	1.28	36	4.10	2.27	0.52	3.86	81.1
14	晴桜	249	272.7	435.0	206.6	440.8	1.45	29	4.53	1.83	0.54	3.99	82.8
15	初富士	256	294.0	412.5	217.1	409.3	1.06	49	4.17	3.99	0.60	4.60	81.4
	平均値	227.5	266.0	400.2	218.3	430.8	1.20	39.4	4.24	2.76	0.55	4.16	82.0
	標準偏差	18.6	28.1	36.6	21.5	38.5	0.14	5.2	0.34	0.54	0.04	0.30	0.8
	全国平均(S63)	-	-	-	-	438.3	1.22	-	-	-	0.59	4.47	-

なお、これらの検定結果から晴清(No3)、富茂(No6)、盛富士(No12)は、間接検定待機牛として選抜された。また、阿部千代(No1)、雪富士(No9)、晴桜(No14)は、牧牛として利用されることになった。

検定補助：小濱健徳、玉城照夫